



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年3月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <https://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 篤史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義 (TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 2021年5月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の業績 (2020年9月1日～2021年2月28日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	9,996	△6.8	175	△32.5	172	△31.0	119	△14.1
2020年8月期第2四半期	10,730	△3.8	260	△41.2	250	△42.0	139	△42.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	47.44	45.67
2020年8月期第2四半期	56.39	53.04

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	10,821	2,441	21.8
2020年8月期	10,419	2,340	21.6

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 2,369百万円 2020年8月期 2,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年8月期	—	8.50	—	—	—
2021年8月期 (予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の業績予想 (2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,382	16.0	300	197.0	276	240.7	152	—	60.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	2,560,600株	2020年8月期	2,544,800株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	11,499株	2020年8月期	14,999株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	2,528,511株	2020年8月期2Q	2,477,693株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、11都府県に緊急事態宣言が再発令され、1月・2月は当社の多くの店舗において営業時間短縮を余儀なくされるなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社は、お客様及び従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、今後の中長期的な成長へ向けて、粗利率の向上、宝飾品・オリジナルブランドの販売強化、店舗の販売体制の支援強化、デジタル・IT投資による業務効率の改善、販売員の育成並びにEC(ネット通販)やライブ販売等の非接触型販売の拡大に取り組んでおります。

店舗展開といたしましては、2020年12月に北海道北斗市へ上磯店を新規出店いたしました。また、既存店舗の活性化として、9月に名古屋茶屋店、10月に岡崎店・京都桂川店を同施設内において移転リニューアル改装いたしました。

一方、前年度末に決定いたしました不振店舗の閉店につきまして、2021年1月にLe Bonheur Parfait イオンレイクタウンmori店・同春日部店、2月に同名取店、北谷店の合計4店舗を閉店いたしました。これにより当第2四半期累計期間末における店舗数は82店舗となりました。

営業施策につきましては、非接触型販売の試みとして、インターネットを通じたライブ販売を実施しました。また、対策強化店舗のレイアウト変更を実施し回遊性の改善を図るとともに、30周年記念セール、全店でのクーポンを活用した販促強化、販売スタッフへのインセンティブの機動的運用を図りました。

オリジナルブランドにつきましては、定番商品・人気商品を中心に重点販売商品の販促と宝飾部門の強化及びブランド知名度の向上に努めました。

ECにつきましては、中長期的な自社EC販売の強化を図るべく、自社サイトの改善等を進めております。

商品部門別の売上の状況は以下のとおりです。

- ・宝飾品は、オリジナルブランド商品を中心に重点販売商品の販促を強化するとともに、好調なゴールド関連商品の展開も強化したことにより、売上高 2,026,633千円(前第2四半期累計期間比 6.4%増)となりました。
- ・時計は、国産主力ブランドの展開を強化したほか、海外ブランド時計について重点ブランドを絞った販促企画を強化したものの、高額品の落ち込みにより、売上高 2,606,662千円(同 12.2%減)となりました。
- ・バッグ・小物は、人気ブランドの新規導入や30周年記念セール等の販促企画を実施し、人気小物商品等の販売強化に取り組んだものの、一部の主力高額ブランドの販売が落ち込んだことで、売上高 5,363,420千円(同 8.3%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業時間短縮となる環境下にありましたが、商品政策として強化した宝飾部門の販売増により、売上高は9,996,717千円となり、前年同期売上高10,730,085千円に対して733,368千円の減少(6.8%減)に留めることができました。これを受けて営業利益は175,436千円となり、前年同期営業利益260,075千円に対し84,639千円減少(32.5%減)となりました。同様に、経常利益は172,364千円となり、前年同期経常利益250,050千円に対し77,685千円減少(31.0%減)となりました。四半期純利益は、119,968千円となり、前年同期四半期純利益139,729千円に対し19,760千円減少(14.1%減)となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、9,039,391千円となり、前事業年度末と比較して388,088千円増加しております。これは主として、現金及び預金が599,259千円減少したものの、商品が688,723千円、売掛金が197,041千円、その他が108,417千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,781,670千円となり、前事業年度末と比較して13,307千円増加しております。これは主として、工具、器具及び備品が16,948千円減少したものの、建物が14,060千円、敷金及び保証金が7,818千円、その他が5,046千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、4,513,530千円となり、前事業年度末と比較して980,613千円増加しております。これは主として、電子記録債務が1,064,157千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,865,879千円となり、前事業年度末と比較して680,006千円減少しております。これは主として、長期借入金が661,785千円減少したことが要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、2,441,651千円となり、前事業年度末と比較して100,787千円増加しております。これは主として、新株予約権が9,688千円減少したものの、資本金が7,457千円、資本剰余金が10,263千円、利益剰余金が82,021千円増加したことが要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ599,259千円減少し、2,523,075千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は312,972千円(前年同四半期は234,459千円の収入)となりました。これは、主として新規出店等に伴うたな卸資産の増加681,888千円、売上債権の増加196,548千円、未払消費税等の減少171,685千円、法人税等の支払額104,663千円、利息の支払額11,802千円があった一方で、仕入債務の増加1,136,653千円、減価償却費82,956千円、税引前四半期純利益168,338千円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は65,219千円(前年同四半期は76,300千円の支出)となりました。これは、主として敷金及び保証金の回収による収入11,651千円があった一方で、新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得41,271千円、敷金及び保証金の差入による支出13,078千円、定期預金預入れによる支出6,003千円、投資有価証券の取得による支出2,340千円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は847,012千円(前年同四半期は217,075千円の支出)となりました。これは、長期借入れによる収入250,000千円、短期借入金の増加166,600千円があった一方で、長期借入金の返済1,075,665千円、長期未払金の返済121,386千円、配当金の支払37,781千円、自己株取得による支払28,620千円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月13日に公表いたしました2021年8月期の通期の業績予想に変更はございません。

2021年8月期第2四半期累計期間の業績につきましては、本日開示した「2021年8月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,275,349	2,676,090
売掛金	879,232	1,076,274
商品	4,326,418	5,015,141
貯蔵品	93,915	87,080
その他	76,387	184,805
流動資産合計	8,651,303	9,039,391
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	572,278	586,339
構築物(純額)	7	5
工具、器具及び備品(純額)	194,232	177,283
建設仮勘定	17,776	22,600
有形固定資産合計	784,295	786,228
無形固定資産		
ソフトウェア	14,333	12,841
無形固定資産合計	14,333	12,841
投資その他の資産		
敷金及び保証金	647,697	655,516
その他	322,036	327,083
投資その他の資産合計	969,734	982,599
固定資産合計	1,768,363	1,781,670
資産合計	10,419,666	10,821,061

(単位: 千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	861,959	934,454
電子記録債務	13,093	1,077,250
短期借入金	—	166,600
1年内返済予定の長期借入金	1,851,359	1,687,479
未払法人税等	53,936	45,936
賞与引当金	63,000	74,300
ポイント引当金	3,478	3,123
店舗閉鎖損失引当金	20,643	18,648
資産除去債務	10,880	8,648
その他	654,566	497,089
流動負債合計	3,532,916	4,513,530
固定負債		
長期借入金	3,996,801	3,335,016
資産除去債務	211,013	216,722
長期未払金	338,071	314,141
固定負債合計	4,545,885	3,865,879
負債合計	8,078,802	8,379,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,597	339,054
資本剰余金	311,433	321,696
利益剰余金	1,640,475	1,722,497
自己株式	△12,533	△10,602
株主資本合計	2,270,972	2,372,646
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,132	△3,330
評価・換算差額等合計	△12,132	△3,330
新株予約権	82,023	72,335
純資産合計	2,340,863	2,441,651
負債純資産合計	10,419,666	10,821,061

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	10,730,085	9,996,717
売上原価	8,212,270	7,681,111
売上総利益	2,517,815	2,315,605
販売費及び一般管理費	2,257,739	2,140,168
営業利益	260,075	175,436
営業外収益		
受取利息	20	19
受取配当金	580	638
受取保険金	988	1,414
助成金収入	—	6,000
その他	1,568	1,313
営業外収益合計	3,158	9,386
営業外費用		
支払利息	13,105	12,107
その他	78	350
営業外費用合計	13,183	12,458
経常利益	250,050	172,364
特別損失		
固定資産廃棄損	58	4,025
減損損失	37,324	—
特別損失合計	37,383	4,025
税引前四半期純利益	212,666	168,338
法人税、住民税及び事業税	80,392	24,401
法人税等調整額	△7,454	23,968
法人税等合計	72,937	48,369
四半期純利益	139,729	119,968

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	212,666	168,338
減価償却費	108,399	82,956
固定資産廃棄損	58	4,025
減損損失	37,324	—
株式報酬費用	10,174	12,376
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,585	11,300
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△831	△355
受取利息及び受取配当金	△601	△657
支払利息	13,105	12,107
売上債権の増減額(△は増加)	306,232	△196,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	△910,101	△681,888
仕入債務の増減額(△は減少)	647,066	1,136,653
未払金の増減額(△は減少)	34,337	44,794
未払消費税等の増減額(△は減少)	△67,574	△171,685
その他	△15,018	△11,673
小計	356,654	409,743
利息及び配当金の受取額	601	657
利息の支払額	△12,745	△11,802
法人税等の還付額	—	19,036
法人税等の支払額	△110,051	△104,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	234,459	312,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,004	△6,003
有形固定資産の取得による支出	△28,277	△41,271
無形固定資産の取得による支出	△4,751	△1,362
投資有価証券の取得による支出	△2,289	△2,340
敷金及び保証金の差入による支出	△35,169	△13,078
敷金及び保証金の回収による収入	192	11,651
その他	—	△12,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,300	△65,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△300,000	166,600
長期借入れによる収入	1,250,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△957,501	△1,075,665
長期未払金の返済による支出	△145,336	△121,386
配当金の支払額	△64,237	△37,781
自己株式の取得による支出	—	△28,620
その他	—	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,075	△847,012
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△58,916	△599,259
現金及び現金同等物の期首残高	2,427,582	3,122,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,368,665	2,523,075

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。